

事業群評価調書(平成28年度実施)

基本戦略名	4 生きがいを持って活躍できる社会をつくる	事業群主管所属	福祉保健部長寿社会課
施策名	(1) いつまでも健康で活躍できる社会の実現	課(室)長名	小村 利之
事業群名	② 高齢者の社会参加と活躍促進	事業群関係課(室)	ねんりんピック推進課、雇用労働政策課

1. 計画等概要

【事業群取組内容(総合計画に掲げる取組)】

《長崎県総合計画チャレンジ2020 本文》

高齢者のスポーツや文化活動への支援をはじめ、高齢者自らの生きがいを高め健康づくりを進める活動や、長年培った知識や経験を活かした活動等への支援を行い、高齢者の社会参加と活躍を促進します。

事業群指標	最終目標 (H32)	基準値 (H26)	実績 (H27)	達成率	【進捗状況の分析】
長崎県ねんりんピック等の参加者数	6,000人	5,790人	5,713人	-	平成28年度に開催される全国健康福祉祭ながさき大会に向けて、県ねんりんピックへの参加者数は増加しているが、平成27年度は、ながさき大会に向けた競技・運営能力の向上を図るための講習会の開催に重点をおいて実施したことにより、平成26年度と比較すると、ブロック別スポーツ交流大会等の開催が9回から5回に減ったため、全体としては基準値を下回ったが、参加者の満足度は高く、高齢者の生きがい・健康づくりに貢献している。
事業群の進捗状況					

【事業群取組内容(総合計画に掲げる取組)の分析】

《取組項目及び現状と課題》

i) 長崎県ねんりんピックの開催、全国健康福祉祭への選手派遣等

・高齢者の生きがいと健康づくりを推進するため、県ねんりんピック(スポーツ交流大会、文化交流大会、作品展)等を開催しており、特に、平成28年度に本県で開催される全国健康福祉祭ながさき大会の成功に向け、関係団体との連携や協力体制を一層深めるため、県ねんりんピックの充実・強化やブロック大会の開催、競技・運営力向上のための講習会等に取り組んだ。また、健康長寿社会の実現を目指し、すこやか長寿大の開催や予防健康管理のための運動(スクエアステップ運動等)の普及に取り組んだほか、地域活動のさらなる普及定着と高齢者の一層の社会参加を誘導・支援するためのリーダー育成等を行うアクティブ・エイジングサポート事業をモデル的に松浦市で実施した。

・現在実施している事業は、県ねんりんピック大会開催などスポーツの割合が大きいことから、より幅広い多くの高齢者に参加していただけるような生きがい・健康づくり策について検討していく必要がある。先行してモデル的に取り組んでいるアクティブ・エイジングサポート事業については、地域内の自立的な活動推進体制を構築するとともに、その成果を踏まえつつ、各地域でのリーダー育成等を県内全域に広めていく必要がある。

ii) 高齢者の生きがいづくりや健康づくりなどの老人クラブ活動の支援

・老人クラブの活動は、地域のつながりが希薄化している中、老後の生活を豊かなものとし、活力のある高齢社会を構築していくための中核的な役割を担うものであり、生きがいづくり、健康づくり、介護予防、地域の支え合いに資する活動、研修等に対する助成を行った結果、一人暮らし高齢者等の安否確認・訪問活動や子供たちへの伝統文化の伝承活動など、老人クラブ活動の活性化が図られた。また、県老人クラブ連合会においては、組織強化のため若手・女性リーダー育成研修会を開催(計100名参加)するとともに、連合会全体で会員増強運動に取り組んだ結果、平成27年度の新規会員は4,001人となった。

・しかしながら、高齢化による退会等のため、全体としては老人クラブ数や参加者数の減少が続いている。(平成26年6月 98,954人→平成27年6月 96,899人 ▲2,055人)

iii) 元気な高齢者が自らの知識や経験を活かして地域貢献できる仕組みづくりや活動支援

・地域において元気な高齢者が自らの豊かな経験や知識を活かし、地域の担い手として地域の課題解決に取り組む仕組みを構築するため、各市町における地域協議会の設置や拠点づくりに対する支援を行った結果、全市町で協議会、3市町において活動交流拠点が設置された。

・今後ますます人口が減少することが予想されており、地域の担い手が不足するため、従来事業(元気高齢者による地域づくり事業、人材玉手箱)を検証するとともに、地域協議会や活動交流拠点を活用しながら、元気な高齢者の活躍の場を創出し、高齢者の社会参加を促していく必要がある。

・また、生産年齢人口の減少を補うため、高齢者の就業機会拡大が求められており、産業分野(職種)、年齢層(65歳まで、65歳以上、70歳以上)毎に、就業状況や事業者・高齢者のニーズを把握し、就業機会の拡大を図る産業分野や、ターゲット(年齢層、能力・知識等)を明確にするとともに、従来事業(シルバー人材センター等)について改めて検証し、今後の施策の方向性を検討していく必要がある。

iv) 「第29回全国健康福祉祭ながさき大会」(愛称:ねんりんピック長崎2016)の開催

・平成28年10月に開催される第29回全国健康福祉祭ながさき大会(愛称:ねんりんピック長崎2016)の開催に向け、実行委員会の専門委員会等を開催し、総合開会式などの式典や交流大会の各種目の詳細、各イベントの内容、参加手続や会場地市町の紹介等を盛り込んだ開催要領、総合開・閉会式及びイベントの基本計画に基づき各セレモニーやイベント実施計画等の策定とともに、広報キャラバン隊の活動や節目イベントの実施による県民に対する周知活動を行った。

・県民総参加の長崎県らしい魅力あふれる大会として、交流人口の拡大に繋げる必要がある。

2. 27年度取組実績

取組項目	事務事業名 所管課(室)名	事業期間	事業費(上段:実績、下段:計画、単位:千円)			事業概要		指標(上段:活動指標、下段:成果指標)					事業の成果等	中核事業				
			H27実績	一般財源	人件費(参考)	事業対象	事業内容 (事業の実施状況)	指標	主な目標	H27目標	H27実績	達成率						
			H28計画	一般財源	人件費(参考)					H28目標	—	—						
取組項目 i	明るい長寿社会づくり推進機構費	H3-	58,973	58,973	4,028	主に60歳以上の高齢者	(公財)長崎県すこやか長寿財団が行う、長崎県ねんりんピック(高齢者スポーツ大会、文化交流大会、作品展)、平成28年度に本県で開催される全国健康福祉祭ながさき大会に向けた競技力・運営力向上のための講習会等の開催、平成27年度全国健康福祉祭への選手派遣、すこやか長寿中学校の開催、アクティブ・エイジングサポート事業等に対する助成を行った。	活動指標	高齢者スポーツ大会等の開催回数(回)	14	20	142%	平成28年度に本県で開催される全国健康福祉祭ながさき大会に向け、県ねんりんピックの参加者数が増加するなど、全体として目標を上回っており、高齢者の参加機会の提供を通じて、高齢者の生きがいづくり、健康づくり、社会活動の振興に寄与した。特に、競技・運営力向上のための講習会等に重点をおいて実施した結果、全国大会に向けた準備が整えられた。	○				
	長寿社会課		69,744	69,744	4,032			成果指標	参加者数(人)	5,500	5,713	103%						
取組項目 ii	老人クラブ等育成事業	S38-	79,499	41,035	7,250	単位老人クラブ、県・市町老人クラブ連合会(中核市を除く)	単位老人クラブや県・市町老人クラブ連合会が行う、生きがいづくり、健康づくり、地域の支え合い活動等に対する助成を行った。	活動指標	事業実施単位老人クラブ数(クラブ)(長崎市を除く。H28からは佐世保市も除く。)	1,509	1,503	99%			全ての単位老人クラブや県・市町老人クラブ連合会に対し、活動費等の助成を行ったことにより、老人クラブ活動の活性化が図られ、単位クラブ数は減少したものの、参加者数は目標値を上回り、高齢者の生きがいづくり、健康づくり、介護予防の推進及び社会参加の促進に寄与した。	○		
	長寿社会課		69,181	35,874	7,258			成果指標	老人クラブ活動参加者数(長崎市を除く。H28からは佐世保市も除く)(人)	79,200	79,467	100%						
	老人クラブ研修費補助金	S49-	5,220	5,220	806	各単位老人クラブ(長崎市を除く)	老人クラブ活動の一環として研修旅行を行う場合に必要経費の一部助成を行った。	活動指標	研修実施クラブ数(クラブ)	92	122	132%	研修実施クラブ数、研修参加者数ともに目標値を上回っており、老人クラブ活動を推進し、高齢者の生きがいを高めることに寄与した。	○				
	長寿社会課		4,000	4,000	807			成果指標	研修参加者数(人)	920	2,263	245%						
取組項目 iii	地域包括ケアシステム人材育成・資質向上事業(地域助け合いづくり事業(地域こまらん隊養成)(医療介護基金))	(H28新規) H28-29	—	—	—	元気高齢者	生活支援を必要とする方々に対する助け合いの地域づくりを進めるため、市町(地域包括支援センター)が推薦した自治会に対し、研修会等の支援を行い、元気高齢者などによる助け合いの仕組みづくりを構築する。	活動指標	研修実施回数(回)	—	—	—			—	○		
	長寿社会課		3,600	0	5,645			成果指標	地域こまらん隊結成地区数(累計)	—	—	—						
	元気高齢者による地域づくり事業	(H27終了) H25-27	1,114	1,114	9,668	各市町	各市町に地域協議会を設置し、地域課題の発見や解決策の協議を行うとともに、地域の高齢者が主体となって解決に取り組むための活動拠点づくりを行った。	活動指標	地域における交流の場、元気高齢者の活躍の場となる拠点設置数(箇所)	21	3	14%	全市町で協議会を設置(既存の協議体に同様の機能を持たせたものも含む)したが、活動交流拠点については、従来の高齢者サロン等との違いや運営費の確保が課題となり、設置したのは3市町にとどまった。設置された活動拠点については、幅広く地域住民が立寄り交流する場として利用されており、高齢者の生きがい及び地域社会参加の促進に寄与した。	○				
			長寿社会課	—	—			—	成果指標	活動交流拠点を設置した市町における1日平均利用者数(人)	15	29					193%	
	総合就業支援センター運営等事業	H26-	197,128	104,611	8,056	求職者	若年、中高年、女性、高齢者等の様々な求職者のニーズに応じた就業支援として、個別カウンセリングや、適職診断、求職者向け各種セミナー等を実施した。	活動指標	総合就業支援センター利用者数(人)	6,700	6,447	96%					県内の若年、中高年、女性、高齢者等の様々な求職者のニーズに応じたワンストップサービスで県内への就業支援に寄与した。	○
			雇用労働政策課	143,027	143,027			8,065	成果指標	総合就業支援センター利用就職者数(人)	2,546	2,170						
長寿社会課	H26-	197,128	104,611	8,056	求職者	若年、中高年、女性、高齢者等の様々な求職者のニーズに応じた就業支援として、個別カウンセリングや、適職診断、求職者向け各種セミナー等を実施した。	活動指標	総合就業支援センター利用者数(人)	6,700	—	—	県内の若年、中高年、女性、高齢者等の様々な求職者のニーズに応じたワンストップサービスで県内への就業支援に寄与した。			○			
		雇用労働政策課	143,027	143,027			8,065	成果指標	総合就業支援センター利用就職者数(人)	2,623	—					—		

取組項目 iii	高齢者等雇用安定対策費		9,013	9,013	3,222	高齢者	高齢者等の失業の防止及び再就職の促進等、雇用の安定を図った。	活動指標	高齢者雇用支援のつどいの参加者数(人)	110	94	85%	県シルバー人材センター連合会への支援を行うとともに、「高齢者雇用支援のつどい」を通じた企業への普及啓発を図ること、高齢者の多様な就業機会の提供に寄与した。	
	雇用労働政策課		9,083	9,083	3,226			成果指標	65歳までの継続雇用がある企業の比率(%)	100	98	98%		
取組項目 iv	全国健康福祉祭開催事業	H25-28	94,929	1,328	145,008	県内外大会参加者 県・市町・関係団体	平成28年10月に開催される第29回全国健康福祉祭ながさき大会(愛称:ねんりんピック長崎2016)の開催に向け、実行委員会の専門委員会等を開催し、開催要領、総合開・閉会式及びイベントの実施計画等の策定を行った。また、広報キャラバンや節目イベント等により大会の周知を図った。	活動指標	H27:実行委員会総会等開催数(回)	18	19	105%		26種の交流大会の競技方法や参加手続き等を示した開催要領や式典・各種イベントの内容を取りまとめた実施計画を専門委員会等において審議の上、策定したほか、広報キャラバン隊の活動、節目イベントの実施により県民に対して大会開催を周知できたことから大会開催準備に寄与した。
	ねんりんピック推進課		989,789	600,984	145,170			成果指標	H27:開催要領策定	数値目標なし	策定	—		
							活動指標	H28:広報サポーター活動延べ人数(人)	40	—	—			
							成果指標	H28:「ねんりんピック長崎2016」大会参加者数(人)	500,000	—	—			

3. 検証及び問題点の抽出

【課題解決に向けて取り組んだ事務事業の実績の検証】

- i)
- 平成28年度の全国健康福祉祭ながさき大会に向け、県ねんりんピックへの参加者も増加(平成26年度3,924人→平成27年度4,167人)するとともに、競技・運営力向上のための講習会等を開催(述べ783人参加)するなど、全国大会に向けた準備が整えられた。一方、すこやか長寿大学校については、受講生が減少傾向にあるため広報や募集に力を入れていく必要がある。
- また、地域内の自主的な活動を誘導・促進する取組を推進していくため、モデル的に、松浦市でバウンドテニスを地域活動として普及定着させるためのリーダー育成研修等を行うアクティブ・エイジングサポート事業に着手した。松浦市においては、リーダーを中心とした活動推進主体として松浦市バウンドテニス協会が設立されたほか、講習会の開催や中学生等との交流を通じて、自主的に活動するグループが出てくるなど、地域への普及定着が図られてきており、今後さらに、運動ができない方へも親しんでいただけるようにバウンドテニスの道具を使用した健康体操の普及に取り組んでいく予定である。今後は、市町とも協議をしながら、地域におけるリーダー育成等を県内全域に広めていく必要がある。
- ii)
- 単位老人クラブや県・市町老人クラブ連合会に対し、活動費等の助成を行うことにより、老人クラブ活動の活性化が図られた。また、県老連においては、組織強化のため若手・女性リーダー育成研修会を開催(計100名参加)するとともに、県老連全体で会員増強運動に取り組んだ結果、平成27年度の新規会員は4,001人となったが、高齢化による退会等のため全体としては2,055人の減となった。老人クラブ数、参加者数は減少傾向にあり、今後のさらなる高齢化に伴い、深刻化する地域の担い手不足などに対応するため、県老連などが行う若手リーダー等の育成、老人クラブの会員増強運動を支援していく必要がある。
- iii)
- 全市町で地域協議会が設置済みとなり、高齢者が地域の担い手として地域課題の解決に取り組む体制づくりができた。今後は、このような地域協議会が中心となり、具体的な取組を推進していくことが必要である。また、豊かな経験を有する高齢者の活躍の場や地域の交流拠点として、全市町で活動交流拠点の設置を目指したが、従来高齢者サロン等との違いや運営費の確保が課題となり、設置したのは3市町にとどまった。拠点づくりが全市町に広がるよう、取組事例の情報共有等を通じて、各市町に働きかけていく必要がある。なお、平成28年度に新たに1町において活動交流拠点が設置された。
- 長崎県総合就業支援センターは、若者、中高年、女性、高齢者などの県内就職の促進とUターン者の促進に寄与している。平成27年度は、総合就業支援センターの周知徹底を図り、利用者の増加を重点としたが、県内では、雇用情勢の改善により人手不足が深刻化しており、求職者ニーズ・求人者ニーズの不一致が生じている。今後は、利用者の増加を図るとともに、ハローワークと連携したきめ細かな支援により就職者数を伸ばしていく必要がある。また、急速な少子高齢化の進展や労働力人口の減少が進む中、年金支給開始年齢の引き上げ等も踏まえ、高齢者への多様な就業機会の確保を図っていく必要がある。
- iv)
- 「大会ボランティア募集」「クリーンアップ運動」「おもてなし声かけ運動」等県民参加による選手・役員をおもてなしする機会を創出することで、第29回全国健康福祉祭ながさき大会を長崎県らしい魅力あふれる大会にして、高齢者の生きがいづくりと健康づくりに寄与していく。
- 今後も、宿泊・輸送計画など具体的な準備を進めるとともに、県民参加を更に推進するため、大会期間中のイベント観覧などの一般参加者を増やしていく取り組みが重要になる。



4. 29年度実施に向けた方向性

【問題点解決に向けた方向性】	【個別事務事業の見直し】			見直し区分
	事務事業名	事業構築の視点	見直しの方向	
i) 長崎県ねんりんピックの開催、全国健康福祉祭への選手派遣等 より幅広い多くの高齢者に参加していただけるような健康づくり・生きがいつくり策について検討していく。先行してモデル的に取り組んでいるアクティブ・エイジングサポート事業については、その成果を踏まえつつ、各地域でのリーダー育成等を県内全域に広めていく。	明るい長寿社会づくり推進機構費	⑨	平成28年度:より幅広い多くの高齢者に参加していただけるような健康づくり・生きがいつくり策について検討する。アクティブ・エイジングサポート事業については、各地域でのリーダー育成等を県内全域に広めていくため、市町への働きかけを行う。また、すこやか長寿大学の受講生募集については、県の広報媒体も活用するなど取組を強化する。 平成29年度:適宜、健康づくり・生きがいつくりを推進するための方策について検討するとともに、アクティブ・エイジングサポート事業の一層の推進を図る。	改善
ii) 高齢者の生きがいつくりや健康づくりなどの老人クラブ活動の支援 引き続き、県老連が取り組む若手リーダー等の育成、老人クラブの会員増強運動を支援する。	老人クラブ等育成事業	—	老人クラブの活動は、地域のつながりが希薄化している中、老後の生活を豊かなものとし、活力のある高齢社会を構築していくための中核的な役割を担うものであり、今後もリーダー育成など活動費等への助成を継続することにより活動の活性化をはかり、生きがいつくり、健康づくり、介護予防等に寄与していく必要がある。	現状維持
	老人クラブ研修費補助金	②	平成28年度:平成27年度に引き続き、一泊以上の研修を要件とし、離島については嵩上げて助成を行うことで、老人クラブの活性化を図ることはもとより、県内各地への経済波及効果を拡大していく。 平成29年度:より多くの高齢者の参加を促し、経済波及効果が拡大するよう見直しを行う。	改善
iii) 元気な高齢者が自らの知識や経験を活かして地域貢献できる仕組みづくりや活動支援 生活支援を必要とする方々に対する助け合いの地域づくりを進めるため、元気高齢者などによる助け合いの仕組みづくりを構築するとともに、そのノウハウを県内に広げていく。 元気高齢者の社会参加、就労機会の拡大に向けて、従来の取組を検証し、足らざる取組の具体化を検討する。 若者、中高年者、女性、高齢者などの県内企業への就業を促進するため、引き続き、長崎県総合就業支援センターにおいて、長崎労働局と連携し、個別カウンセリングや適職診断、求職者向け各種セミナー等のきめ細かな支援により、就職者数を伸ばしていく。 高齢者の就業支援については、長崎労働局と連携した「シルバー人材センターへの支援」や「企業における65歳までの継続雇用の推進」に加え、長崎県総合就業支援センターを通じた就業機会の提供に努める。	地域包括ケアシステム人材育成・資質向上事業(地域助け合いづくり事業(地域こまらん隊養成)) (医療介護基金)	—	少子高齢化の進行に伴い、生産年齢人口が減少していく一方で、生活支援を必要とする高齢者は増加している。元気な高齢者に地域の担い手として活躍していただき、生活支援の必要な人に対する支援が行えるような、地域助け合いの体制づくりに取り組む。	現状維持
	総合就業支援センター運営等事業	②、⑦、⑨	人手不足の状況の中で、県内企業への就業を促進するため、求職者ニーズに沿った支援を行うとともに、長崎労働局と一体となって取り組むことにより、1人でも多くの求職者を支援していく。また、県内企業の魅力ある情報や企業ニーズに応じたセミナー等を実施し、県内企業の人材確保を支援していく。	改善
	高齢者等雇用安定対策費	③、⑨	高齢者雇用安定法(国及び地方公共団体はシルバー人材センターの育成などに努める)に基づき、運営費補助している「県シルバー人材センター連合会」に対し、派遣事業の拡大など環境変化を踏まえた助言・指導を行うことで、効率的・効果的な県の運営支援を図っていく。	改善
iv) 「第29回全国健康福祉祭ながさき大会」(愛称:ねんりんピック長崎2016)の開催	全国健康福祉祭開催事業	—	—	終了